

新年のごあいさつ



信頼

社会福祉法人足羽福祉会

理事長 滝波博純

新年明けましておめでと
うございます。

昨年は何かとお世話にな
りありがとうございました。
今年もどうか同様に変わら
ぬご指導ご鞭撻べんたつをよろしく
お願い申し上げます。

昨年は何といつても新型

インフルエンザの流行が一
番の心配事でした。多くの
方々がご一緒している私た
ちの施設では、その感染予
防に万全を尽くすことが肝
要となります。皆さん方と
ご家族の方々、いつもお世
話になっている多くのボラ
ンティアの皆さん、地域の
皆さん、そして関係者各位、



米寿を心からお祝い致します

特に職員には、大変なご尽
力を頂戴ちやうだい致しました。まだ
先の事は予想できない様相
です。引き続きご理解ご協
力をお願い致します。

さて、いろいろ事の多い
中で新年を迎えましたが、
昨年この挨拶で、私たち
福祉従事者として、サービ
スの基本は「人」であり、お
一人お一人に合った、満足
していただける、そして安
心していただける保育、支援、
介護を提供していきたいと
お話し申し上げました。先
日のある講演で、感銘を受
け意を強くした話がありま
したのでご紹介致します。
その方は、三菱UFJリ
サーチ&コンサルティング
理事長の中谷巖なかつた いわお氏です。「信
頼ある日本社会の創造に向
けて」という表題で、こんな
話をされました。

済大国という隆々たる発展
を成し得たのも、その最も
基礎的な要素は「信頼」とい
う、人間性によるもので、こ
の「信頼」こそ日本人が誇れ
る重要な資産である。幕末

開国時、多くの西洋人が日
本にやって来た。そして日
本の社会を見聞して仰天し
た。日本の人たちはなんと
穏やかで温かで、他の人の
ものをくすねるといふ心配
がまったくない。安心、信頼
できる人間関係、社会を作
っている。このことについ
て多くの外国人が手記を書
いている。

また、日本の企業は何が
強かったのか、それは「現場力」
があるからだ。働いている従
業員の人たちが責任感をも
って欠陥品がでないよう熱
心に仕事をしている。悪いと
ころがあると自発的に協力
して直していく。皆が当事者
意識をもって対応する。一心
同体、一体感をもって社会を

つくってきたのである。
しかし、年々欧米化、さら
にグローバル化(世界的規模)
しており信頼社会が損なわ
れてはいないだろうか。も
う一度、人と人がお互いに
信頼できる社会を築き直さ
なければならぬ。そうす
れば、日本社会のユニーク
な強み(高度信頼社会)は維
持できるであろう。不況が
多少長引いても心配するこ
とはない。このようなことは、
社会福祉の仕事に密接に関
係していることである。福
祉の現場においても「お互
いに包み合う」ことができ
る福祉の中身をつくり上げ
ていくことが非常に大きな
分かれ目である。

以上のお話でした。
これからもより一層、人
のため、地域のため「心」を
持って信頼される福祉を進
めてまいります。どうぞよ
ろしくお願い致します。